

はあとのおと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

珠洲市総合病院

TEL (0768) 82-1181

FAX (0768) 82-1191

E-Mail: byouin@city.suzu.lg.jp

ホームページアドレス:

<http://www.city.suzu.ishikawa.jp/suzuhp/>

2016(4)

第44号



金木犀(若山町中)
撮影者:野主喜久夫

病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- | | |
|----------------------------------|---|
| • カテーテル検査/治療とは? | 1 |
| • お薬手帳って知ってますか?
10月からのニューフェイス | 2 |
| • 病院フェスタのお知らせ | 3 |
| • インフルエンザを予防しよう! | 4 |



カテーテル検査/治療、最近よく耳にするようになった検査/治療法ですが、一般的にはどんな病気に対して、どのような検査/治療をするかご存知ですか？

カテーテルとは医療用の中空の管のことをいいます。

このカテーテルを血管などに挿入し、造影剤を通すことで検査をしたり、バルーンを用いて病変を拡張したり、ステント留置をすることで治療を行うなど様々な用途に用いることができます。



カテーテルの図

用途により太さや材質には様々なものがあります。

カテーテル検査/治療とは、現在では多臓器に渡って多種多様の治療法がある領域ですが、内科、特に循環器領域で扱う検査/治療について説明します。

主に循環器内科が扱う領域として、

- ①狭心症（きょうしんしょう）、急性心筋梗塞（きゅうせいしんきんこうそく）に対する心臓カテーテル検査(CAG)、経皮的冠動脈形成術(PCI)
 - ②下肢閉塞性動脈硬化症（かしへいそくせいどうみゃくこうかしょう）に対する経皮的血管形成術(EVT)
 - ③透析シャントに対するバスキュラーアクセスインターベンション(VAIVT)
 - ④不整脈に対するカテーテルアブレーション
- 他にもいくつかありますが、主に上に挙げた4つがメインになります。

当院では、主に心臓カテーテル検査を施行し、狭心症や下肢閉塞性動脈硬化症の診断を行います。場合によってはそのまま当院で治療を行う場合もありますが、最新施設の整った近くの総合病院に紹介し、そちらで治療をさせて頂くことの方が多いのが現状です。

心臓のカテーテル治療で時に生じる合併症は容態を急変させ、最悪の場合は命にかかわることがあるため、最新の設備が整い、心臓外科医の常勤医が在籍する施設で施行する方が安全なことが多いからです。しかし、時間的余裕のない急性冠症候群（急性心筋梗塞や不安定狭心症）に限っては、当院で施行させていただくケースもあります。また、透析患者様でのシャント閉塞、シャント狭窄に関しては、積極的に当院で施行させていただいております。

今までは、金沢等の都市部でしか検査や治療を受けられないと考えていた方も多いのではないのでしょうか。当院でも十分施行可能であり、必要な患者様はいつでも検査いたしますので、お気軽にご相談ください。

では、狭心症や下肢閉塞性動脈硬化症がどんな症状かご存知ですか？

- ①狭心症・・・狭心症では、主に労作時（早く歩いた時、軽い運動をした時、階段を上ったとき、坂道をのぼったとき）に前胸部が重く押されたような感じになる、締め付けられた感じがするといった前胸部絞扼感（ぜんきょうぶこうやくかん）が典型的な症状です。特に冷や汗を伴うときは要注意です。すぐに医療機関を受診しましょう。



- ②下肢閉塞性動脈硬化症・・・下肢閉塞性動脈硬化症では、間欠性跛行（かんけつせいはいこう）といった症状が典型的です。間欠性跛行とは、歩いているときに特にふくらはぎの筋肉の痛み、しびれ、冷感といった症状が生じますが、休むと軽減する症状のことです。しかし、腰部脊柱管狭窄症（ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう）といった整形外科疾患でも同様の症状が生じます。

労作時の胸痛、強い息切れ、また歩行時の下肢痛、しびれ、冷感といった症状で日常困っていることはありませんか？いつでもお気軽にご相談ください。

『お薬手帳』って知ってますか？

「お薬手帳」はみなさんの健康を守る手帳です。

病院や診療所の薬は一人ひとりの病気に合わせて処方されています。処方された薬の名前や飲む量、回数、飲み方などを記録し、携帯することで薬をより安全により効果的に使っていただくことができます。また先の東日本大震災・熊本地震でも「お薬手帳」が災害時の命綱として、その有効性が再確認されたことが新聞報道等で多く見受けられました。

珠洲市総合病院では、これまでも希望される患者さんに「お薬手帳」を薬局窓口でお渡ししてきましたが、これまでお使いでない方もぜひお申し出ください。

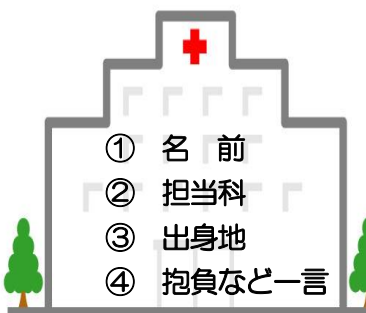


「お薬手帳」を上手に利用するために

- 他の病院、診療所、歯科医院にかかった時にこの手帳を医師、薬剤師に見せる事で薬の重複などを避けることができます。
- 飲んでいるすべての薬を「1冊で」記録することが大切です。複数の医療機関にかかっている場合でも「お薬手帳は1冊に」を続けて記録していきましょう。
- 外出時で病気や事故になった時や災害時に避難した時、「お薬手帳」があれば、あなたが飲んでいる薬を正確に伝えられますので常に携帯・保管しましょう。
- 副作用歴、アレルギー、過去にかかった病気などの情報を伝えることができます。

10月からのニューフェイス

10月からの新任医師
2名を紹介します。

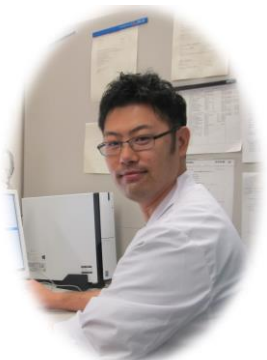


① もりた やすひこ
森田 保彦

② 整形外科

③ 小松市

④ 小松市民病院に勤務していました。地域の特徴に合わせた、堅実な医療を提供したいと考えています。これからよろしくお願いします。



① むらおか まさひろ
村岡 正裕

② 小児科

③ 東京都

④ 9月まで加賀市医療センターに勤務していました。微力ながら子ども達とご家族に安心して頂ける地域となるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。

病院フェスタ 2016

11月12日(土)に病院フェスタを開催します！
地域の皆さんに病院の役割を楽しみながら知ってもらうため行っているこのイベントも今年で5回目。子供からお年寄りまで楽しめる様々なイベントを用意していますので、ご家族でお越しください。

日時：11月12日(土) 9:30～12:30

スケジュール

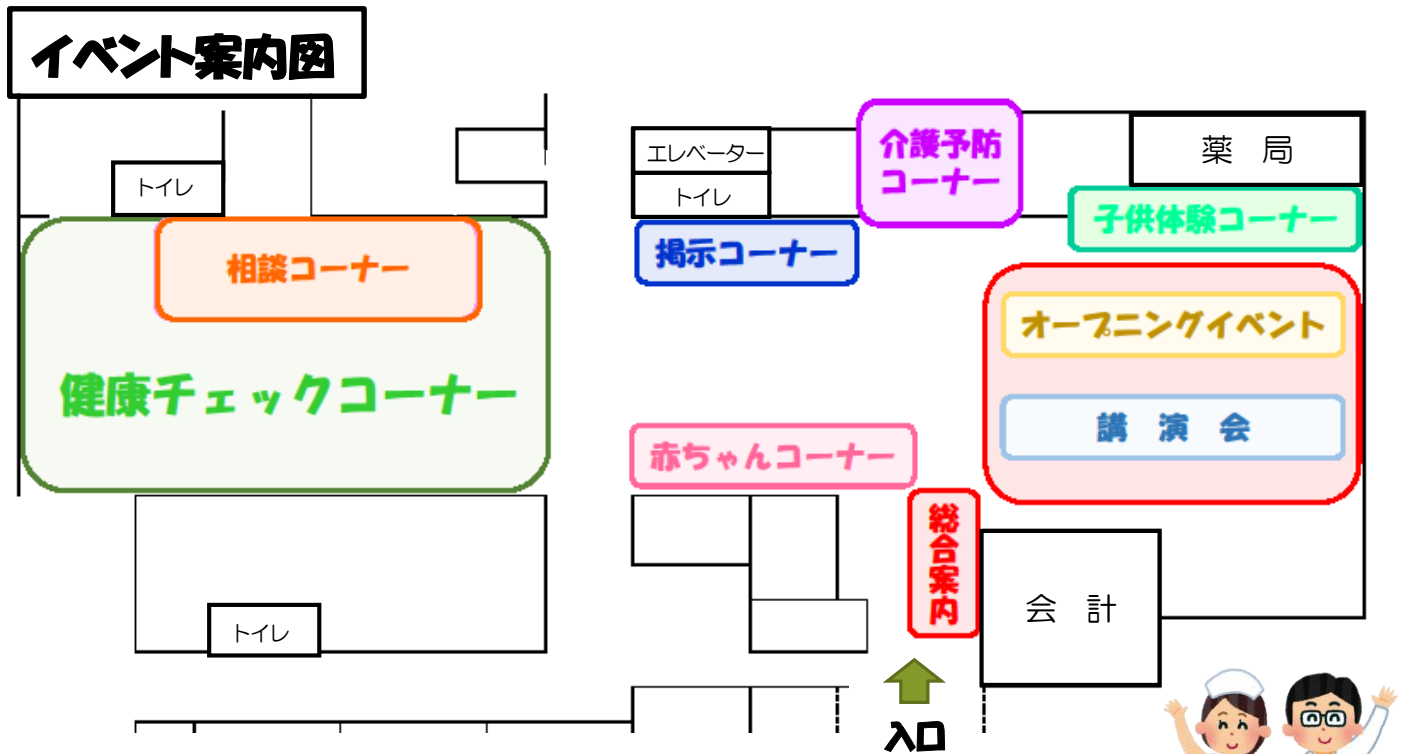
9:30～10:00 **オープニングイベント** 若山保育所園児の踊り

10:00～10:30 **講演会** 骨粗しょう症について(講師 整形外科医長 大成一誓)

10:30～12:30 各種コーナー(詳細は下記のとおり)

子ども体験コーナー	マーブルチョコの不思議な袋詰め	介護予防コーナー	認知症予防運動など
赤ちゃんコーナー	妊婦体験など	掲示コーナー	専門の職員による糖尿病や慢性腎臓病の説明
健康チェックコーナー	身長・体重・血管年齢・骨密度・ 血糖値・ストレスチェック	相談コーナー	「気になるカルテ」を参考に、栄養や服薬などの相談にお答えします

また、スタンプラリーも行っています。各コーナーでもらえるスタンプを集めて景品と交換しましょう。総合案内では10:30からスタンプラリー用の台紙の配布、景品の受け渡しを行います。



たくさんの方の来場をお待ちしています！

インフルエンザを予防しよう！

毎年秋から冬にかけてインフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化する恐れもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。



★インフルエンザと風邪の違いは？

	インフルエンザ	風邪
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・38度以上の発熱 ・全身に発症（頭痛、関節痛、筋肉痛、けん怠感など） ・急激に発症 	<ul style="list-style-type: none"> ・局所に発症（のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳など） ・比較的ゆっくり発症
流行の時期	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2月がピーク ・4、5月まで散発的に続くことも 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて ・特に季節の変わり目や疲れているときなど

★インフルエンザを予防するには？

- ・手洗い、うがいをこまめに行う
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事をとる
免疫力が弱っていると感染しやすく、症状が重くなってしまうおそれがあります。ふだんから、十分な睡眠とバランスのよい食事を心掛け、免疫力を高めておきましょう。
- ・予防接種を受ける
予防接種（ワクチン）は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ効果があります。医師と相談し、予防接種を受けることも考えてみましょう。ワクチンの効果が持続する期間は一般的に5ヶ月程度です。
- ・適度な湿度を保つ
空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。
- ・人混みや繁華街への外出を控える
インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。



★他の人にうつさないためには？

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいる可能性があります。くしゃみや咳が出る場合はマスクを着用しましょう。鼻をかんだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。くしゃみや咳など周囲のものにウイルスを付着させないために、インフルエンザに感染した人もこまめな手洗いを心掛けましょう。

★病院で受診する際のお願い

- ・インフルエンザが心配で病院を受診する時は検査のときでもマスクを着用し、インフルエンザと診断されても外の人にうつさないようにしましょう。
- ・インフルエンザウイルスは初期の段階では数が少なく、検査によっては見つけれないことがあります。これは発症から12時間ほど経っていないと、陽性にならないことがあるためです。その場合は時間をあけてもう一度受診するように勧められることがあります。



はぁとのおと 第44号 外来診療日程

平成28年11月1日現在

午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1診	波佐谷	石田	波佐谷	循環器	波佐谷
	2診	石田	小泉	中島	出島	井ノ口
	3診	出島	中島	小泉	井ノ口	石田
外科	坂本	萩野	坂本	宮田	萩野	
呼吸器外科						田村ほか
小児科	村岡		和田	村岡		
耳鼻咽喉科	栴田	岸	栴田			
整形外科	大成・森田					
産婦人科	山城					
脳神経外科	浜田	会田/大石		浜田		
泌尿器科	毎週月曜日(休日の場合は次開院日) 隔週金曜日					
皮膚科	谷内		永岡		牧野	
精神科		西村			西村	
健診室	佐々木					

小児科(要予約)

- (月) 予防接種 14:30~
- (火) 慢性疾患 14:00~16:00
- (水) 健康診断 13:30~
予防接種 14:30~
- (金) 予防接種 14:30~

産婦人科(要予約)

- (月)(木) 助産外来 10:30~午前中
- (月)(金) 産後2週間健診 14:00~
- (水) 産後1ヶ月健診 13:30~

その他

- (水) 糖尿病予防教室 14:00~15:00
- (月)~(金) 医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1診	中島	出島	佐々木	小泉	小泉 <small>(予約のみ)</small>
	2診		石崎			
小児科	予防接種	慢性疾患	健診・予防接種		予防接種	
耳鼻咽喉科	栴田					
眼科				馬渡	馬渡	
産婦人科	産後2週間健診		産後1か月健診		産後2週間健診	
禁煙外来(産婦人科)				予約のみ		

※表示日程は都合により、一部変更になる場合があります。

※午後の初診の方は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。

※眼科、泌尿器科の日程は下記のとおりです。

(都合により、一部変更になる場合があります。)

泌尿器科
毎週月曜日(月曜が祝日の場合は火曜日)
隔週金曜日
受付 8:00~11:30
診療時間 9:00~12:30

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

眼科
毎週金曜日、隔週木曜日
受付 12:00~16:00
診療時間 14:00~17:00

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

編集後記
 祭りの熱いムードも一段落し、日々秋の深まりを感じます。天気や気温の変動も大きい時期になりました。日頃の体調管理にも気をつけていきたいですね。
 病院広報委員会

